

会 議 録

第3回定例会

開会 令和4年5月11日

教育委員会会議録

- 1 開 会 令和4年5月11日 午前10時
- 2 閉 会 令和4年5月11日 午前10時45分

3 教育委員会出席者

教育長	榊 浩一
委員	菊池 健次
委員	島 隆寛
委員	三木 千佳子
委員	河野 暁
委員	岡本 弘子

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	臼杵 一浩
教 育 次 長	中野 敏章
教 育 次 長	生田 雅和
教 育 創 生 課 長	重田 英紀
学 校 教 育 課 長	今田 潤
教 育 政 策 課 長	小原 広行
教 育 政 策 課 副 課 長	山星 茂

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 協議事項1及び報告事項2を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《報告事項1 令和4年度徳島県公立高等学校入学学力検査集計結果について》

教育長 報告を求める。

教育創生課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

島委員：通学区域制を見直したことにより、通学学区外から第3学区の普通科に合格する人数がどちらかというが増えていっている。このことは、次の学年の子たちも分かっているのか。このような情報を知っている人と知らない人がいては困る。どこまでこのような情報を知らせているのか。

教育創生課長：本日の資料については、全て、各中学校、高等学校及び各市町村教育委員会に送付をしている。

島委員：今後も、学区の流入率を引き上げていくのか。

教育創生課長：普通科の通学区域の見直しをした現制度で、少なくとも3年間は入学者選抜を実施することとしている。まずは、その結果を分析してからと考えている。

菊池委員：入試の結果を見ると、平均点が下がっているのだが、最近では、1人1台端末の環境が整ってきており、学力が上がっていくのを期待している。ここから先、学力をどのように伸ばしていくのか。

教育創生課長：平均点が下がった理由としては、思考力・判断力を問う問題が増えてきていることがあると考えている。学力を伸ばしていくために、引き続き全国学力調査，学力ステップアップテスト，持続的なP D C Aサイクル，I C Tなどを活用しながら，授業の改善に向けた指導助言など，各校の取組を支援していくこととしている。

三木委員：市内から市外の普通科に合格した生徒数の中に，県外に出た生徒は含まれているのか。

教育創生課長：含まれていない。県内のみである。

岡本委員：思考を重視しているということであるが，新聞で問題を見るとあまり変わっていないように感じる。思考力という測りにくい力を見るためにも，学力検査の内容を考慮していくことが必要であるとする。

教育創生課長：今回の結果についてフィードバックし，今後の指導に活かすつもりである。

《報告事項3 令和4年度全国学力・学習状況調査について》

教育長 報告を求める。

学校教育課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

三木委員：この結果は，個人にも返されるのか。

学校教育課長：各個人にもフィードバックされる。

岡本委員：新聞で調査問題を見たが，以前と比べてずいぶん変わってきた。知識を問う問題だけでなく，考えさせる問題が多くなった。様々な情報から必要なところを取り出し，考えて解く問題になっている。

島委員：I C T機器を授業で活用している学校と調査結果との関係がどうなるか。調査問題は，考えさせる問題になっている。何回かやっておかないとできない。慣れが必要。

学校教育課長：今回の調査は，必ずしも教科に関する調査結果とI C T機器の活用状況との関連性を明らかにするものとはなっていないが，質問紙調査の中では，I C T機器の活用についての質問があったので，どこまで分析できるかを含め検討してみたい。

島委員：文部科学省の説明では，タブレット端末を使用した学習では，ログが残り児童生徒がどのように考えたのかが追いやすくなる。これらのビッグデータを

蓄積・分析することで、学力向上につなげることができる。タブレット活用は、文部科学省の方針なので、そうであれば次回もタブレット端末の予算をつけてほしいと思う。

[非公開]

《報告事項2 令和5年度使用高等学校用教科用図書採択について》

《協議事項1 令和4年度5月補正予算案について》

[閉会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉会 午前10時45分